



健康かわら版

令和3年9月発行

No. 130

～第2次みやぎ21健康プランをすすめましょう～

がん検診を受診しよう！

2021年度がん征圧スローガン「コロナでも 変わらぬ習慣 がん検診」

がんの早期は自覚症状なし！

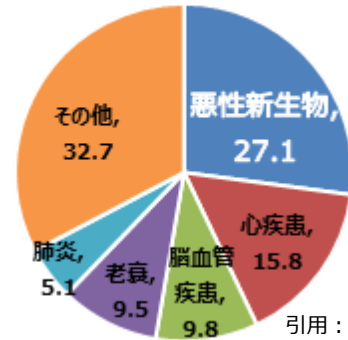
日本人の2人に1人が「がん」になると言われており、宮城県でも**死亡原因の第1位**となっています。

がんは、早期は自覚症状がありません。しかし、**早期発見すれば90%以上が治る***¹と期待されます。

そこで、早期発見・早期治療につなげることが非常に大切です。

※1 がんの統計 2017(公財 がん研究振興財団)

宮城県の死亡総数に占める割合 (%)



引用：令和2年度版データからみたみやぎの健康

国が受診を推奨する5種類のがん検診

胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの5つのがんは、それぞれ特定の方法で行う検診を受けることで早期に発見でき、さらに治療を行うことで死亡率が低下すると、これまでの研究によって科学的に証明されています。

種類	肺がん検診	大腸がん検診	胃がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診
対象者	40歳以上	40歳以上	50歳以上	20歳以上	40歳以上
間隔	1年に1回	1年に1回	2年に1回	2年に1回	2年に1回

あなたは、がん検診を受けていますか？

宮城県は、全国に比べてがん検診の受診率が高いです。しかし、新型コロナウイルスによる受診控え等の影響で、令和2年度の全国の住民検診では、**受診者が3割減少した***²とも言われています。

検診会場では、適切な感染対策を行っています。**がんの発見の機会を減らさないように**、受ける人も自ら感染対策をとった上でがん検診を受診しましょう！

※2 対がん協会報第700号(公財 日本対がん協会)



宮城県がん征圧イメージキャラクター

大崎地域で働く皆様の健康づくりを応援する情報満載のサイト「おおさき健康ナビ」もご活用ください!!

おおさき健康ナビ

検索

